

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日
平成 30 年 4 月 10 日

事務事業名		市地域女性会運営助成事業		事業区分		担当	
				新規/継続	継続	事務事業No.	020303000631
				単独/補助	単独	所属課	090601
政策体系	総合計画の施策名	0203 青少年の健全育成		主要事業		生涯学習課	
	政策名	02 生きがいを育む学びのまちづくり		市長マニフェスト			
	施策名	03 青少年の健全育成		未来PJ事業		グループ	
	手段名	03 ③地域教育力の充実		合併建設計画事業		生涯学習G	
財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計
	01	10	05	01	02	00	社会教育総務事業
法令根拠				単年度繰返し (年度~)			
				← 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
平成17年10月の合併に伴い旧町村でそれぞれ活動していた「岩瀬町女性会」「大和村女性の会」「真壁町地域女性団体連絡会」が廃止となり、平成18年4月より「桜川市地域女性会」を設立し総会を行った。	<ul style="list-style-type: none"> ○補助金交付の手続き(交付申請受理後決定及び交付)また、実績報告の受理 ○各種行事(市民祭、清掃活動)の他課との連絡調整 ○研修会に伴う市バス使用申請及び同行

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
女性の地位向上のための研修 幹部会研修並びに継続者養成 情報交換 他団体との連絡提携 資料作成及び広報活動 目的を達成するために必要な事業	補助額	千円	230.00	230.00	230.00	0.00	0.00
	女性会会員数	人	345.00	345.00	345.00	345.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
市内女性	市内女性数(常住人口)	人	21,082.00	20,839.00	20,596.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
各支部相互の連絡提携を図るとともに、各 単位団体の活動を推進し、地域社会の向上 発展に寄与する	活動件数	件	50.00	50.00	50.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移			28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	期間限定 総投入量	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	230	230	230	0
	事業費計(A)		千円	230	230	230	0
	人件費	正規職員従事人数	人	1.00人	2.00人	2.00人	
述べ業務時間		時間	102.00	100.00	100.00		
人件費計(B)		千円	298	293	293		
トータルコスト(A)+(B)		千円	528	523	523		

事業費の内訳	29年度事業費 実績(千円)			30年度事業費 予算(千円)		
	19 負担金補助及び交付金	230		19 負担金補助及び交付金	230	
	合 計			230	合 計	
				230		

(4) 当該年度の実施内容		30年度の事業内容	31年度の事業内容	32年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する				
<ul style="list-style-type: none"> ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業 				

事務事業名	市地域女性会運営助成事業	事務事業No.	20303000631	所属課	生涯学習課
-------	--------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 平成17年10月の合併に伴い旧町村でそれぞれ活動していた「岩瀬町女性会」「大和村女性の会」「真壁町地域女性団体連絡会」が廃止となり、平成18年4月より「桜川市地域女性会」を設立し総会を行った。		
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 平成24年度の総会で活動方針の違いから地域女性会は分裂し、26年度より新しい女性団体が発足した。2団体とも方針内容が同じなため、市内統一に向けての協力依頼。		
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 <table border="1"> <tr> <td>改革改善を行う</td> <td>・市内統一に向けて各代表と連絡を密にし話し合いを持つ。</td> </tr> </table>	改革改善を行う	・市内統一に向けて各代表と連絡を密にし話し合いを持つ。
改革改善を行う	・市内統一に向けて各代表と連絡を密にし話し合いを持つ。	

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ・市の行事やボランティア活動に積極的に参加していることは、生涯学習・芸術文化活動の推進に結び付く。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ・地域女性会の親睦を深め、友愛の精神を養い女性自身の充実・発展のために必要である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ・市内統一に向けて協議する必要がある。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ・女性の教養、生活、地位向上のためには廃止、休止できない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない ・類似事業との統廃合・連携の可能性の余地はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ・自主活動であり、会の役員により成り立っている。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である ・市補助金のほか会員によって賄われているため、公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ⇨	(2) 全体総括(振り返り、反省点) ・今後市内統一に向けて話し合っていきたい。																					
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 (複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 活動内容が類似している2団体について、統一に向けた調整が必要であり、話し合いを行う。																						
(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A:継続(現状維持) <input type="checkbox"/> C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B:継続(改革改善を行う) <input type="checkbox"/> D:2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
--	---